

近森病院(338床)におけるチーム医療の実践

I) 急性期医療をサポートするチーム医療

根本治療をサポートする(早く治すための)チーム医療
専門医師、薬剤師、臨床放射線技師、臨床工学技士等によるサポート

II) 急性回復期をサポートするチーム医療

救命後の回復のための(早く自宅へ帰すための)チーム医療
1) 管理栄養士(13名): 栄養評価と栄養プランの提案と栄養サポート
2) リハビリスタッフ(PT54名・OT14名・ST3名): 病棟でのリハビリの実践

III) 周辺業務サポートの(医師の雑用をなくすための)チーム医療

- 1) MSW(8名): 転院・在宅へのサポート、社会資源の有効利用etc.
- 2) 医事課(40名) 企画情報室・診療情報管理室(17名): 診療情報管理士(33名)
DPCコーディングや書類作製のサポート、電子カルテサポート
- 3) 医療秘書(9名): カルテへの代行入力、カンファレンスの用意、研究・調査のサポート

IV) トータルケア(看護の質を上げるため)のチーム医療

感染対策チーム、医療安全チーム、褥瘡チーム、口のリハビリチーム等

↓ コメディカルが病棟業務に関われるよう、患者に接しない仕事は可能な限り外部委託化。

多職種により機械的にその業務が終了するように、業務を切り分ける視点が大事

8

近森病院における急性期栄養サポートチームの取組み

組織

- ・医師、看護師、管理栄養士、薬剤師、リハスタッフ、臨床検査技師などの多職種が参加。
- ・医師は、チームリーダーとして病棟毎に部科長の担当医師を配し、看護部は病棟毎にNST担当の栄養看護師を指名。
- ・NSTにおいて中核的な働きをする、専門性の高い優秀な管理栄養士を多教育成し、病棟に配属。

栄養スクリーニング

- ・受け持ち看護師が全入院患者を入院時および退院まで1週間毎にスクリーニング
- ・3kg以上の体重増減、アルブミン3.2g/dl以下等の項目に該当すれば栄養評価の対象者とする

栄養評価、栄養計画

- ・栄養評価と栄養計画は、病棟に配属された管理栄養士が毎日、病棟業務として行なっている。
- ・栄養サポートは栄養プランに基づいて病棟の管理栄養士と担当医師、看護師が日常的に対応し実行している。

カンファレンス、回診

- ・回転の速いICU、CCUは週2回、HCUや一般病棟は週1回のカンファレンスやラウンドを行なっている。
- ・病棟で管理栄養士と医師、看護師が日常的に実行している栄養サポートを、多職種が総合的にチェックし、適切な栄養管理になるよう調整している。

9

NSTの効果

20世紀の医師、看護師中心の医療
絶食・末梢輸液・抗生剤の絨毯爆撃



21世紀 高齢社会を迎え、チーム医療で人手をかけて
できるだけ腸を使い、輸液↓、ピンポイントの抗生剤



栄養↑→免疫能↑→感染を防ぎ、長期入院↓、単価↑
在院日数↓、処理患者数↑+物のコスト↓



チーム医療で労働生産性を高め、相対的に人的コストの削減
+物的コストの削減+医療の質の向上



マンパワーの充実したNSTは医療界に最後にやって来た
大型のチーム医療。病院を大きく変える、病院改革の起爆剤!!

10

近森病院(338床)のNST介入症例数

(症例数)

